

番号	主な意見	対応案
恵那市議会 リニア中央新幹線対策特別委員会		
0	<p>提言</p> <p>地域住民の生活環境、自然環境に対し、地域の意見を真摯に受け止め、新幹線建設の理解を得られるように地域において丁寧に説明を行い、市民生活に悪影響を及ぼさないよう市民を代表する立場から強く要望します。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
1	<p>中央新幹線環境影響評価準備書に対する意見</p> <p>ア. 地上露出箇所騒音、振動については、環境を守るためにも防音・防災フード対策を講じること。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>20. 明かり部での騒音について、防音壁では、音の発生源である中央新幹線ルート用地幅(22m)を超えた地点で「新幹線鉄道騒音に係る環境基準」を下回ることができないと予測されている。それについて土地利用対策や個別家屋対策なども含めて総合的な対策を実施するとされているが、良好な環境を保全するためには用地幅(22m)を超えた全地点、全地域で環境基準を超えないことが必要である。そのため、騒音対策として市内明かり部全線について防音・防災フードを施工すること。</p> <p>24. 良好な環境を保全するためには用地幅(22m)を超えた全地点で環境基準を超えないことが必要である。そのため、微気圧波対策として市内明かり部全線について防音・防災フードを施工すること。</p>
2	<p>イ. 鉄道施設の存在に伴い、日影による生活環境及び農作物の影響が生じると予測される地域においては、一定期間調査を行い、住民に説明すること。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>32. 限度時間を超える日照障害が生じることとなっているが、具体的に被害が生じ、補償の対象となる農作物や農地及び住宅戸数等を公表すること。</p>
3	<p>ウ. 工事用車両の運行にあたり、住民生活に支障がないよう配慮をすること。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>6. 工事及び工事に伴う車両が通行するにあたっては、周辺の良好な生活環境(大気環境、水環境、土壌環境等)の保全に努め、環境基準にとらわれることなく、できる限り低減する策を講ずること。</p> <p>42. 工事にあたっては、地元住民への事業説明を十分に行い、工事箇所における歩行者及び一</p>

		<p>般車両の交通と安全を確保するとともに、工事中の通行ルートを示し、工事箇所及び通行ルート近隣住民の生活に支障のない計画とすること。</p>
<p>4</p>	<p>エ. 工事伴い、地下水及び河川への影響が懸念されることから、工事前、工事中、工事後において、それぞれ一定期間調査を行い、情報を地域住民に説明をすること。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>25. トンネル掘削など土木工事時における土砂流出や、雨水集中による近隣住家等への被害防止策を講ずること。</p> <p>26. トンネル出口周辺や高架橋の構造が、雨水集中による近隣の道路や住家への影響を及ぼさない鉄道施設とし、雨水集中を緩和し安全に河川等に排水できる付帯設備の設置等の策を講ずること。</p> <p>28. 予定路線が河川や農業用排水を横断する箇所があるので、自然流下を基本として箇所ごとの施工方法について管理者と十分協議を行うこと。</p> <p>29. 地下水の影響範囲が示されているが、影響範囲をボーリングデータとリンクさせるとともに、工事着手前に影響範囲内の水資源に関する事前調査を全箇所実施すること。工事中及び工事完了後も全箇所測定を行うとともにその結果を公表し、減水等があった場合には直ちに応急措置、恒久対策を事業者の責任において実施すること。</p> <p>46. 工事期間中においても既設の用水路、排水路の切り分けを行い、防災施設を設置し、工事に伴う濁水が田畑や池へ流入をしないよう十分な対策を講ずること。</p>
<p>5</p>	<p>オ. 残土処理に対して、土質調査、チェックを行い、国の基準に値に準ずること。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>30. 建設発生土の土質チェック方法(頻度や検査方法、検査体制など)を明らかにし、その結果を公表すること。</p> <p>31. 汚染された建設発生土が発見された場合は、その事実をすみやかに公表するとともに、「関係法令等に基づき適切に処理・処分する」としているが、その具体的な方法を例示すること。</p> <p>39. 建設発生土の処分に当たっては、排出先の法手続き等を含め全て事業者の負担により行うこと。</p> <p>40. 「発生土の仮置き場での適切な管理で土壌汚染を回避」とあるが、仮置き場の位置を具体的に</p>

		公表すること。併せて建設発生土の再利用について、事業内・事業外の再利用の想定量を公表すること。
6	カ. 非常口箇所の詳細な設計図を速やかに公表することとし、施工における騒音・粉塵・安全性の確保を事前に十分に図ること。	<p>【恵那市の意見】</p> <p>13. 非常口の位置は示されているものの、非常口から軌道までのルート及び深さが示されておらず、影響が判断できないため、公表すること。</p> <p>17. 実験線の非常口から大量の埃が噴煙となって排出されているのを目撃している。周辺の人家への影響を考慮し、非常口の設計を示すとともに原因を公表し、その対応策を講ずること。</p>
リニア問題を考える恵那市民の会		
7	1. 環境アセスメントに関し、方法書に対する意見は知事宛に提出されましたか。準備書でその意見について十分に回答されていますか。	<p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし（方法書に対する意見は提出済み）</p>
8	2. JR 東海に認可申請の前に、細かく沿線自治会で説明会を開催するよう要請してください。そのために住民の不安を残したままで認可申請しないよう申し入れてください。	<p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
9	3. 電磁波について、ペースメーカー利用者をはじめ沿線の住民は健康への影響を心配されています。JR 東海の見解について恵那市としての評価、見解を示してください。恵那市独自で困難ならば、県としての評価・見解を明らかにするよう県に要請してください。	<p>【恵那市の意見】</p> <p>33. 4m離れた地点での値が示されているが、恵那市内では半地下の場所も想定され、緩衝帯の4mを確保できない箇所も有るよう疑われる。対応方法を公表すること。</p>
10	<p>4. 約9割がトンネルとなる恵那市は、山梨実験線でもすでに発生しているように、地下水脈に大きな変化を及ぼすと思われます。これは農業、林業、観光など恵那市の多くの産業に重大な影響を及ぼすものであります。その補償について稲作などへの具体的な対応策を示すよう、JR 東海など関係機関に意見を提出してください。そして水利権などに法的に不備な点があればこれまでの水利権者が不利にならないよう整備するよう、国に求めてください。</p> <p>なお、いま恵那市が実施している井戸、湧水調査について、その活用計画について聞かせてください。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>3. 大気汚染・騒音・振動・微気圧波・水・土壌等の定期的な測定、結果の公表を行い、湧水等の事故が発生した場合には、速やかに復旧措置を講じ、事業者の責任において恒久的に対応すること。</p> <p>5. 周辺環境や住民生活に影響・支障がでないよう、環境基準にとらわれることなく、万全の対策を講ずること。</p> <p>28. 予定路線が河川や農業用排水を横断する箇所があるので、自然流下を基本として箇所ごとの施工方法について管理者と十分協議を行うこと。</p> <p>29. 地下水の影響範囲が示されているが、影響範囲をボーリングデータとリンクさせるとともに、工事</p>

		<p>着手前に影響範囲内の水資源に関する事前調査を全箇所実施すること。工事中及び工事完了後も全箇所測定を行うとともにその結果を公表し、減水等が有った場合には直ちに応急措置、恒久対策を事業者の責任において実施すること。</p>
11	<p>5. 騒音・振動について、山梨実験線ではリニア特有の空気振動による騒音が発生しています。特に橋梁部及びトンネル出入り口付近での安寧な市民生活が脅かされることが想定されます。市民の不安解消のために再現設備を設け、工事認可申請前に沿線住民に体験する機会を与えるよう、JR 東海に要請してください。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>24. 良好な環境を保全するためには用地幅(22m)を超えた全地点で環境基準を超えないことが必要である。そのため、微気圧波対策として市内明かり部全線について防音・防災フードを施工すること。</p>
12	<p>6. 日照権阻害について、事業者である JR 東海に緩衝地帯を設けるよう要請してください。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>32. 限度時間を超える日照阻害が生じることとなっているが、具体的に被害が生じ、補償の対象となる農作物や農地及び住宅戸数等を公表すること。</p>
13	<p>7. 恵那市は貴重な希少生物、絶滅危惧種があり、リニア建設計画はこれへの影響が心配されています。準備書ではこれについて事後調査することが示されていますが、恵那市として知見者・有識者に呼びかけ、その意見が恵那市環境審議会に反映させるよう取り計らってください。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>34. 「動物・植物・生態系での工事による改変をできるだけ小さくすることで回避又は低減できる。」とあるが、改変され回避できない場合の具体的な対策を公表すること。</p> <p>35. 当地域には、重要湿地もあり、また、絶滅危惧・準絶滅危惧種も生息している。阿木川から愛知県境までのトンネル部であるが、湿地等について文献、現地調査を実施しているが、代表的なものだけではなく、すべてについて詳細調査を実施し、分布図、配置図、種類等について公表するとともに保全対策を講ずること。</p> <p>36. 動植物への影響について、公表するとともに、保全対策を講ずること。</p>
14	<p>8. 残土について、事業者計画地域で処理できない大量の残土が予定されています。残土処理について、費用はあくまでも事業者負担とすること、残土の安全性と計画用地については下流も含めた十分な住民の理解が前提であります。情報はオープンにし、安易な対応とならないようあくまでも住民目線での業務をお願いします。</p>	<p>【恵那市の意見】</p> <p>39. 建設発生土の処分にあたっては、排出先の法手続き等を含め全て事業者の負担により行うこと。</p> <p>40. 「発生土の仮置き場での適切な管理で土壌汚染を回避」とあるが、仮置き場の位置を具体的に公表すること。併せて建設発生土の再利用について、事業内・事業外の再利用の想定量を公表すること。</p>

15	9. JR 東海はウラン含有残土の存在の可能性を認めています。この残土の運搬、滞積、最終処分について、安全な具体的な対応方法を求めています。特に、恵那市内域では、搬出、運搬、滞積、最終処分の作業を行わないよう申し入れてください。	【恵那市の意見】 30. 建設発生土の土質チェック方法(頻度や検査方法、検査体制など)を明らかにし、その結果を公表すること。 31. 汚染された建設発生土が発見された場合は、その事実をすみやかに公表するとともに、「関係法令等に基づき適切に処理・処分する」としているが、その具体的な方法を例示すること。
16	10. 環境審議会の委員の選出方法、問題点の調査方法、審議機関、知事あて意見書の提出期日はどのようになっているか、明らかにしてください	【恵那市の意見】 意見なし
その他市民からの意見		
17	1. リニアには夢も希望もない。市民をだまさないで！リニアにばかり税金を使わないで！	【恵那市の意見】 意見なし
18	2. いつの間にか恵那市の一大事業になっているリニアは、市民に大きな利益があるような広報の記事に怒りを覚えます。こんな計画がうまくいくとは思えない。もっと市民の暮らしを守って。	【恵那市の意見】 意見なし
19	3. リニアが自宅の地下を通るようだが、なんの説明もない。工事期間中の騒音も気になるし、ずっと住み続けることに不安を感じる。	【恵那市の意見】 意見なし
環境影響評価準備書説明会 平成 25 年 10 月 9 日(水)恵那防災センター		
20	1.説明会で問題提示を	【JR の回答】 今後、事業説明会・工事説明会で詳細な説明を行っていく。 【恵那市の意見】 42. 工事にあたっては、地元住民への事業説明を十分に行い、工事箇所における歩行者及び一般車両の交通と安全を確保するとともに、工事用車両の通行ルートを示し、工事箇所及び通行ルート近隣住民の生活に支障のない計画とすること。
21	2.区分地上権の説明	【JR の回答】

		<p>実験線の例では5m までは買収、30m までは区分地上権を設定している。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
22	3. 明かり部分の景観への影響について	<p>【JR の回答】</p> <p>現在はコンクリート製を考えている。地域と調和のとれた景観で施工していきたい。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>37. 景観への影響で、「改変区域を小さくすることや、構造物の形状の配慮の環境保全措置を徹底することで景観等への影響を回避・低減できる」とあるが、どのような対策を行うのか具体的に例示すること。</p> <p>38. 地域景観との調和で高架橋の防音・防災フード設置部は、恵那市の景観条例を踏まえ、地域住民の景観形成に対する意見を尊重し、通過地域の景観と整合する工夫を講ずること。</p>
23	4. 音は上に上がっていくと思う。大井町では防音壁と書いてあるがフードにならないか	<p>【JR の回答】</p> <p>今後、地元と調整しながら進めたい</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>20. 明かり部での騒音について、防音壁では、音の発生源である中央新幹線ルート用地幅(22m)を超えた地点で「新幹線鉄道騒音に係る環境基準」を下回ることはできないと予測されている。それについて土地利用対策や個別家屋対策なども含めて総合的な対策を実施するとされているが、良好な環境を保全するためには用地幅(22m)を超えた全地点、全地域で環境基準を超えないことが必要である。そのため、騒音対策として市内明かり部全線について防音・防災フードを施工すること。</p>
24	5. 500 台のトラックはどこを通る？すべて軌道内？	<p>【JR の回答】</p> <p>実施計画認可後、工事説明会で詳細は説明する。環境影響評価では想定で 500 台となっている。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>22. 土砂運搬車両の走行ルートについても具体的に公表すること。</p>

		42. 工事にあたっては、地元住民への事業説明を十分に行い、工事箇所における歩行者及び一般車両の交通と安全を確保するとともに、工事用車両の通行ルートを示し、工事箇所及び通行ルート近隣住民の生活に支障のない計画とすること。
25	6.リニアは必要か	<p>【JR の回答】</p> <p>基本計画は昭和 47 年、その後調査を進め、平成 23 年に国土交通大臣から建設の指示をもらい進めている。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
26	7.500 台のチェックは誰が行うのか	
27	8.原発との関係	<p>【JR の回答】</p> <p>電力会社の供給範囲内で運用できる。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
28	9.水の枯渇について	<p>【JR の回答】</p> <p>事後調査を行う。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>28. 予定路線が河川や農業用排水を横断する箇所があるので、自然流下を基本として箇所ごとの施工方法について管理者と十分協議を行うこと。</p> <p>29. 地下水の影響範囲が示されているが、影響範囲をボーリングデータとリンクさせるとともに、工事着手前に影響範囲内の水資源に関する事前調査を全箇所実施すること。工事中及び工事完了後も全箇所測定を行うとともにその結果を公表し、減水等があった場合には直ちに応急措置、恒久対策を事業者の責任において実施すること。</p>
29	10.電磁波は？	<p>【JR の回答】</p> <p>リニアでは磁界が発生する。磁界は距離の3乗に比例して低減する。基準値内である。</p>

		<p>【恵那市の意見】</p> <p>33. 4m離れた地点での値が示されているが、恵那市内では半地下の場所も想定され、緩衝帯の4mを確保できない箇所も有るように疑われる。対応方法を公表すること。</p>
30	11.作業時間は何時から何時を想定しているのか	<p>【JRの回答】</p> <p>夜間は考えていない。通常工事関係は月曜から土曜で行うが、それよりも少ない時間を設定している。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>43. 特定建設工事には夜間作業の規定が無いが、夜間作業は行わないこと。建設工事に伴う騒音振動対策技術指針を準拠すること。</p>
31	12.500キロで走るのか	<p>【JRの回答】</p> <p>原理的には何キロでも出すことができるが、東京―大阪を1時間という構想であったので、500キロとした。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
32	13.トンネルが地下何mにあると磁界の影響はないか	<p>【JRの回答】</p> <p>距離が遠いと低減する。トンネルの高さが約8mであり、実験線での実測値からでも8m離れば影響はない数値である。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>10. トンネル区間の深さごとの騒音・振動・微気圧波・磁界の予測値を公表すること。</p>
33	14.22メートル以外はどうなるか	<p>【JRの回答】</p> <p>近隣の土地利用も含め、今後詳細に検討を行う。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
34	15.今の図面と実際とのずれはあるか	<p>【JRの回答】</p> <p>図上で作成したものである。また、縮尺の問題もあるが、そんなに大きな違いはない。</p>

		<p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
35	16.トンネルの深さは何 m	<p>【JR の回答】</p> <p>恵那市東部では深いところで15m 程度。阿木川に近くなると、0mになるところもある。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>2. 構造物の断面図、トンネル区間の断面図・縦断図を公表すること。</p> <p>14. 恵那市においては、トンネル部ながら土被りが少ない地点が多く見受けられる。地域内の道路が寸断されないよう、トンネル部を地表に出さない等の対策を講ずること。</p>
平成 25 年 10 月 12 日 (土) 恵那文化センター		
36	1.多治見の説明会で水について補償するとの回答があったが、具体的にはどのような補償となるか	<p>【JR の回答】</p> <p>補償については公共の基準を準用する。リニアだから特別基準を設けるというものではない。山梨実験線では水枯れに対して応急措置を行った。今後、地元と調整しながら恒久対策を行う。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>3. 大気汚染・騒音・振動・微気圧波・水・土壌等の定期的な測定、結果の公表を行い、濁水等の事故が発生した場合には、速やかに復旧措置を講じ、事業者の責任において恒久的に対応すること。</p> <p>4. 環境影響評価の範囲外であっても工事、鉄道施設の原因により環境への影響が認められた場合は、事業者の責任において恒久的に対応すること。</p> <p>5. 周辺環境や住民生活に影響・支障がでないよう、環境基準にとらわれることなく、万全の対策を講ずること。</p> <p>28. 予定路線が河川や農業用排水を横断する箇所があるので、自然流下を基本として箇所ごとの施工方法について管理者と十分協議を行うこと。</p> <p>29. 地下水の影響範囲が示されているが、影響範囲をボーリングデータとリンクさせるとともに、工事着手前に影響範囲内の水資源に関する事前調査を全箇所実施すること。工事中及び工事完了</p>

		<p>後も全箇所測定を行うとともにその結果を公表し、減水等が有った場合には直ちに応急措置、恒久対策を事業者の責任において実施すること。</p>
37	2.環境影響評価での久須見ではどのような調査をしたのか	<p>【JRの回答】</p> <p>ルート上の調査は今後行う。工事中も調査を行うなどしていく、詳細は事業説明会で行う。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
38	3.破碎帯は避けたとあるが？	<p>【JRの回答】</p> <p>断層についても今後、ボーリング調査を行う。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>16.「活断層は回避、もしくは通過延長をできる限り短くし」とあるが、通過ルート上には恵那市を南北に走る赤河断層、権現山断層があり、地下トンネル掘削に伴う地形に及ぼす影響と地震に対する影響について、詳細な評価と対応策を公表すること。</p>
39	4.地層について、遮水層の所にも岩盤があったり複雑な地形である。地下水の流れも複雑であり、もっと調査すべき。	<p>【JRの回答】</p> <p>全幹法に基づき S49 から調査を行って、H21 に報告書を提出した。ルート上の調査は今後も詳細に行う。国家プロジェクトの中で環境アセスを行っている。業務は委託しているが学識経験者等からの提言ももらっている。事業が実行可能な範囲の中で保全できるかという案を示したので、今後皆さんや県から意見を聞いて完成していく。</p> <p>湿地は現地も調査している。実際の工事では井戸の調査もしていく。ご協力をお願いする。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>29. 地下水の影響範囲が示されているが、影響範囲をボーリングデータとリンクさせるとともに、工事着手前に影響範囲内の水資源に関する事前調査を全箇所実施すること。工事中及び工事完了後も全箇所測定を行うとともにその結果を公表し、減水等が有った場合には直ちに応急措置、恒久対策を事業者の責任において実施すること。</p>
40	5.新聞記事で記者の体験談があった。わずか 5 分で頭がふらついたとの事だが、その事	<p>【JRの回答】</p>

	も調査しているのか。原発は事故続きである。コンサルに任せて終わるようなものではない。	<p>リアの研究は S37 から行っている。これは国交省の委員会からも実用可能になったとの評価を受けている。国には技術指針があり、それに基づき行っていく。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
41	6.磁界の影響について。トンネル 15m 上では影響ないとの事だが、野畑地区では地表だと思われるが影響はどうか	<p>【JR の回答】</p> <p>実験線での実測データではガイドウェイから 4m の地点で 0.19mt であり、基準より小さい。トンネル土被り 0m の地点ではこの値より小さくなる。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>8. 大井町野尻野畑地区について、騒音・振動・微気圧波・磁界等も予測を行うこと。</p> <p>9. 大井町野尻野畑地区については、トンネル部となっているが、この評価方法では検討できない。改めて明かり部として評価すること。</p> <p>33. 4m離れた地点での値が示されているが、恵那市内では半地下の場所も想定され、緩衝帯の 4mを確保できない箇所も有るように疑われる。対応方法を公表すること。</p>
42	7.災害振興、東京オリンピックなど土木工事が多くなるが、作業員などのモラル等はどう考えているか	<p>【JR の回答】</p> <p>来年度中に認可を受けたいと思っている。請負業者を選定するにあたり、資格等を持った業者を指名していく。手戻り工事のないようしっかりと行っていきたい。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
43	8.沿線のテロ対策は？	<p>【JR の回答】</p> <p>防音防災フードなどでハード的には外からは入れない。ソフト的には車内の不審な荷物等の確認を行うなどしていく。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
44	9.深夜の保守作業の騒音等の影響は？	<p>【JR の回答】</p>

		<p>保守車両はトラックと同様のものを予定しており、アセスの項目としていない。ガイドウェイと車両との摩擦はないが、コイルの更新などの必要がある。走行中では出来ないので夜間の保守作業となる。</p> <p>【恵那市の意見】 意見なし</p>
45	10.工事車両の予測はあったが、そこへ行く人の車両などは？	<p>【JRの回答】 工事用の大型車を予測した。通勤は大きなものではない。</p> <p>【恵那市の意見】 意見なし</p>
46	11.工事規制により渋滞はないか	<p>【JRの回答】 実際の工事車両の通行や迂回路など今後、地元と調整して工事説明会で説明する。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>6. 工事及び工事に伴う車両が通行するにあたっては、周辺の良好な生活環境(大気環境、水環境、土壌環境等)の保全に努め、環境基準にとらわれることなく、できる限りの低減する策を講ずること。</p> <p>42. 工事にあたっては、地元住民への事業説明を十分に行い、工事箇所における歩行者及び一般車両の交通と安全を確保するとともに、工事用車両の通行ルートを示し、工事箇所及び通行ルート近隣住民の生活に支障のない計画とすること。</p>
47	12.工期が不確定なものはあるか	<p>【JRの回答】 工期は資料編に記載している。</p> <p>【恵那市の意見】 意見なし</p>
48	13.トンネルの出口になるが迂回路もない。工事説明会ではもっと小さな単位で説明をしてほしい。	<p>【JRの回答】 非常口から掘り進みトンネルを掘っていく。</p> <p>【恵那市の意見】</p>

		42. 工事にあたっては、地元住民への事業説明を十分に行い、工事箇所における歩行者及び一般車両の交通と安全を確保するとともに、工事用車両の通行ルートを示し、工事箇所及び通行ルート近隣住民の生活に支障のない計画とすること。
49	14.騒音は基準内でも 80db は大きな音だ	<p>【JR の回答】</p> <p>説明会は地元に近い単位で行っていく。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>20. 明かり部での騒音について、防音壁では、音の発生源である中央新幹線ルート用地幅(22m)を超えた地点で「新幹線鉄道騒音に係る環境基準」を下回ることはできないと予測されている。それについて土地利用対策や個別家屋対策なども含めて総合的な対策を実施するとされているが、良好な環境を保全するためには用地幅(22m)を超えた全地点、全地域で環境基準を超えないことが必要である。そのため、騒音対策として市内明かり部全線について防音・防災フードを施工すること。</p> <p>21. 騒音における環境保全対策のうち「⑥沿線の土地利用対策」については、実施主体が事業者以外となっているので、事業者の行う環境保全措置のみで評価を行うこと。</p> <p>22. 土砂運搬車両の走行ルートについても具体的に公表すること。</p>
50	15.旭ヶ丘あたりは山になっているが、地層は調べたのか	<p>【JR の回答】</p> <p>地質調査は近々に行っていく。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
51	16.記述方法で「小さいと予測する」とあるが「小さい」というあいまいな表現では不適切では？	<p>【JR の回答】</p> <p>環境影響評価はリニアに限ってやっているものではない。道路等も行っている。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
52	17.予測に反することがおきた時の対応も記載してほしい	

53	18.縦覧期間が短かすぎるのでは	<p>【JR の回答】</p> <p>期間は法律に基づいて行っているもの。中津川の事務所で縦覧期間が終わっても対応する。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
54	19.JR 側は写真を撮って録音もとっている。こちらはそれができない。今日のスクリーンでの資料を配布すべき	<p>【JR の回答】</p> <p>写真・録音は記録のため。資料は配布してあるパンフレットを基本に作成している。具体的な質問は中津川の事務所へ聞いていただければお答えする。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
55	20.工事期間中の治安はどう考えているか	<p>【JR の回答】</p> <p>請負業者については仕事以外でも地元で迷惑にならない様に指導する。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
56	21.沿線の用地補償はあるのか。地下も含め。断面がわからない。	<p>【JR の回答】</p> <p>資料編に縦断図を示している。具体的な話は個々に示したいが、認可後の用地説明会で説明する。</p> <p>高架部分(22m)は買収する。トンネルは深さ 5m までは買収する。実験線では～30m までは区分地上権を設定している。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
57	22.区分地上権とは？	<p>【JR の回答】</p> <p>用地を買うものでなく、何割かを補償するもの。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
平成 25 年 10 月 17 日(木)武並コミセン		

58	1.水について不安がある。山水や河川水、工事中の汚水対策などはどうか	<p>【JRの回答】</p> <p>対策などについて事前に説明を行う。工事前、工事中、工事後に調査を行う。もし、推量が少なくなった時などは、地元(市)にも協力を頂き応急対応を行う。工事ヤードについても濁った水が流れないように対策を行う。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>25. トンネル掘削など土木工事時における土砂流出や、雨水集中による近隣住家等への被害防止策を講ずること。</p> <p>26. トンネル出口周辺や高架橋の構造が、雨水集中による近隣の道路や住家への影響を及ぼさない鉄道施設とし、雨水集中を緩和し安全に河川等に排水できる付帯設備の設置等の策を講ずること。</p> <p>27. 自然由来の重金属等について、工事着手前に水質検査を実施し、その結果を公表するとともに、環境基準を超過している場合の対応について対策を講ずること。</p>
59	2.高架橋について。藤地区の高架橋フードはイメージでは半分だが実際は？	<p>【JRの回答】</p> <p>防音壁を基本に考えている。景観イメージのフードは微気圧波の緩衝のためのものであり、防音防災フードとは少し構造が違う。住宅密集地はフードを考えている。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>20. 明かり部での騒音について、防音壁では、音の発生源である中央新幹線ルート用地幅(22m)を超えた地点で「新幹線鉄道騒音に係る環境基準」を下回ることができないと予測されている。それについて土地利用対策や個別家屋対策なども含めて総合的な対策を実施するとされているが、良好な環境を保全するためには用地幅(22m)を超えた全地点、全地域で環境基準を超えないことが必要である。そのため、騒音対策として市内明かり部全線について防音・防災フードを施工すること。</p> <p>24. 良好な環境を保全するためには用地幅(22m)を超えた全地点で環境基準を超えないことが必要である。そのため、微気圧波対策として市内明かり部全線について防音・防災フードを施工す</p>

		ること。
60	3.工事車両台数がかなりあるがどこを通るのか	<p>【JRの回答】</p> <p>主要道路から進入することを想定している。台数はアセスのための数字。実際の工事においてはどのように走るのかなど相談をする。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>22. 土砂運搬車両の走行ルートについても具体的に公表すること。</p> <p>42. 工事にあたっては、地元住民への事業説明を十分に行い、工事箇所における歩行者及び一般車両の交通と安全を確保するとともに、工事用車両の通行ルートを示し、工事箇所及び通行ルート近隣住民の生活に支障のない計画とすること。</p>
61	4.藤地区は蛭などがいるいい所。一度失うと戻すのに大変。十分注意して欲しい。	<p>【JRの回答】</p> <p>関係法令に則り環境に配慮しながら行う。工事ヤードから流れる水は沈殿させるなど対処後に流す。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>25. トンネル掘削など土木工事時における土砂流出や、雨水集中による近隣住家等への被害防止策を講ずること。</p> <p>26. トンネル出口周辺や高架橋の構造が、雨水集中による近隣の道路や住家への影響を及ぼさない鉄道施設とし、雨水集中を緩和し安全に河川等に排水できる付帯設備の設置等の策を講ずること。</p> <p>27. 自然由来の重金属等について、工事着手前に水質検査を実施し、その結果を公表するとともに、環境基準を超過している場合の対応について対策を講ずること。</p>
62	5.上水道はあるが、井戸水も多くある。調査は要求すればすべて行うのか	<p>【JRの回答】</p> <p>調査は今後行う。範囲は可能な範囲までと考えている。ご協力をお願いする。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>29. 地下水の影響範囲が示されているが、影響範囲をボーリングデータとリンクさせるとともに、工事着手前に影響範囲内の水資源に関する事前調査を全箇所実施すること。工事中及び工事完了</p>

		後も全箇所測定を行うとともにその結果を公表し、減水等があった場合には直ちに応急措置、恒久対策を事業者の責任において実施すること。
63	6.日照の補償については触れられているが、その他の補償はあるか。	<p>【JRの回答】</p> <p>補償等については公共の基準に従う。今日説明しないのは環境アセスの説明会ということなので。今後、事業、工事の説明会で行う。日照障害についてはアセス項目。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>32. 限度時間を超える日照障害が生じることとなっているが、具体的に被害が生じ、補償の対象となる農作物や農地及び住宅戸数等を公表すること。</p>
64	7.電磁波が心配。放射能と一緒に目に見えないので。	<p>【JRの回答】</p> <p>リニアでは磁界が発生する。電磁波は波で伝わっていくが、磁界は発生して衰退する。強い磁界の中では体内に電流が発生し、目がチカチカするなどの症状が表れる。磁界は距離の3乗に比例して減衰する。実験線での計測結果は構造物から4mのところではICNIRPのガイドライン以下である。4mの地点は用地をお譲り頂くところ。100m離れば影響はない。磁界は蓄積するものではない。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>33. 4m離れた地点での値が示されているが、恵那市内では半地下の場所も想定され、緩衝帯の4mを確保できない箇所も有るように疑われる。対応方法を公表すること。</p>
65	8.ウラン鉱床について。計画ではウラン鉱床を確認した所は回避した。とあるが、未確認のもの存在は認めるか。掘削してもし、出てきた場合どう処理するのか。また、もし出た時の処理の方法はどうか。	<p>【JRの回答】</p> <p>ウラン鉱床は旧動燃の調査、これは飛行機からの探査と現地のボーリング、50m間隔で調査されている。これは信頼できる情報である。問題はないと考える。念のため、線量計を使い掘削する。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>30. 建設発生土の土質チェック方法(頻度や検査方法、検査体制など)を明らかにし、その結果を公表すること。</p> <p>31. 汚染された建設発生土が発見された場合は、その事実をすみやかに公表するとともに、「関係法令等に基づき適切に処理・処分する」としているが、その具体的な方法を例示すること。</p>

66	9.予測できなかったものについての対応はどうなるのか	<p>【JRの回答】</p> <p>現在、評価の結果の案を公告した。約2年前の方法書により調査、予測(結果)を行っている。懸念の残るものは事後調査を行う。様々なご意見を頂き「評価書」を完成していく。</p> <p>アセスについては、道路などでの実績のあるデータ等を採用している。専門家のアドバイスも受けている。このことは準備書にも記載してある。県でも審査会があり、我々のみで行っているものではない。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>4. 環境影響の評価範囲外であっても工事、鉄道施設の原因により環境への影響が認められた場合は、事業者責任において恒久的に対応すること。</p>
67	10.並行在来線は第3セクターにするなどしているが、中央線はどうなるのか	<p>【JRの回答】</p> <p>中央線は新幹線と役割が違う。並行在来線ではない。今後も運用していく。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
68	11.工事期間は？	<p>【JRの回答】</p> <p>実施計画の認可後、測量や用地取得を行い、工事に入る。現在では工事期間について明確にできない。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
69	12.多くの工事車両が動くが、工事期間中の交通安全が不安	<p>【JRの回答】</p> <p>車両台数は最大値であり、期間中そのだいその台数がずっと続くものではない。交通安全については実験線でも行ったように警備員を配置するなど行っていく。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>6. 工事及び工事に伴う車両が通行するにあたっては、周辺の良好な生活環境(大気環境、水環境、土壌環境等)の保全に努め、環境基準にとられることなく、できる限り低減する策を講ずること。</p>

		<p>42. 工事にあたっては、地元住民への事業説明を十分に行い、工事箇所における歩行者及び一般車両の交通と安全を確保するとともに、工事用車両の通行ルートを示し、工事箇所及び通行ルート近隣住民の生活に支障のない計画とすること。</p> <p>44. 既設道路を利用する場合は、歩行者及び一般車両の安全対策を講じ、既設道路の整備について管理者と協議すること。</p>
70	13.工事車両により道路が壊れた場合、補修する？	<p>【JRの回答】</p> <p>道路管理者との協議により対応する。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>44. 既設道路を利用する場合は、歩行者及び一般車両の安全対策を講じ、既設道路の整備について管理者と協議すること。</p>
71	14.工事車両は 19 号を利用すると思うが、現在も渋滞している。JR から国県に瑞恵道路の早期完成を働きかけている？	<p>【JRの回答】</p> <p>早期完成は我々にとってもありがたい。国などに伝える機会があれば伝えていく。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
72	15.残土はどのようにつかうのか。恵那市で出たものは恵那市で処分するのか	<p>【JRの回答】</p> <p>本工事での活用を考慮しており、周辺では中津川市の車両基地や変電所で活用したい。実験線では都留市の土地改良事業で活用した例もある。今後、県を通じ、市と相談していく。情報があれば市を通じて提供ください。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>39. 建設発生土の処分にあたっては、排出先の法手続き等を含め、全て事業者の負担により行うこと。</p> <p>40. 「発生土の仮置き場での適切な管理で土壌汚染を回避」とあるが、仮置き場の位置を具体的に公表すること。併せて建設発生土の再利用について、事業内・事業外の再利用の想定量を公表すること。</p>

73	16.対策委員会的なものを作ったので今後もよろしく願います。	<p>【JRの回答】</p> <p>よろしく願います。懸念があれば申し出てほしい。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
74	17.リニア路線から100m位のところにため池がある。どうなるか心配である。	<p>【JRの回答】</p> <p>調査をしていく。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>28. 予定路線が河川や農業用排水を横断する箇所があるので、自然流下を基本として箇所ごとの施工方法について管理者と十分協議を行うこと。</p> <p>29. 地下水の影響範囲が示されているが、影響範囲をボーリングデータとリンクさせるとともに、工事着手前に影響範囲内の水資源に関する事前調査を全箇所実施すること。工事中及び工事完了後も全箇所測定を行うとともにその結果を公表し、減水等が有った場合には直ちに応急措置、恒久対策を事業者の責任において実施すること。</p>
75	18.トンネル工事のヤードとはどういうもの	<p>【JRの回答】</p> <p>建設機械や残土の仮置き場。一時的なものは借地で対応する。具体的には事業、工事説明会で説明する。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
76	19.工事車両台数は24時間か8時間の想定か	<p>【JRの回答】</p> <p>車両は昼間を想定。トンネル工事は夜間もあるかもしれない。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
77	20.音、振動などは藤では対象になっていないがどうなる？	<p>【JRの回答】</p> <p>準備書では大井町の01地点と同じ。76db。</p>

		<p>【恵那市の意見】</p> <p>20. 明かり部での騒音について、防音壁では、音の発生源である中央新幹線ルート用地幅(22m)を超えた地点で「新幹線鉄道騒音に係る環境基準」を下回ることができないと予測されている。それについて土地利用対策や個別家屋対策なども含めて総合的な対策を実施するとされているが、良好な環境を保全するためには用地幅(22m)を超えた全地点、全地域で環境基準を超えないことが必要である。そのため、騒音対策として市内明かり部全線について防音・防災フードを施工すること。</p> <p>23. 工事の振動に起因する建物等の損害等について、事前調査を行うこと。</p>
78	21.断面図はあるのか。トンネルからの出水はあるか	<p>【JRの回答】</p> <p>あらあらの縦断は資料編に記載している。トンネルは急勾配ではないが排水勾配をつけつことになる。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>1. 路線やその他付帯施設の位置について示されてはいるが、具体的な断面図、非常口からの軌道までルート、発生土の運搬ルートや仮置き場等が示されない状況での環境影響の判断はできないので、公表すること。</p> <p>2. 構造物の断面図、トンネル区間の断面図・縦断図を早期に公表すること。</p>
79	22.意見はどのような形でだせばいい？	<p>【JRの回答】</p> <p>HP では入力フォームがある。郵送でもいい。日本語で、できればこの県に対するものかを書いて頂きたい。意見は環境の見地からでお願いしたい。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
80	23.音など予測は小さいとあるが、超えた場合はどうなる？一度印を押したら後は何も知らないというようなことはなく対応してください。	<p>【JRの回答】</p> <p>リニアは車輪の摩擦音はないが、空力音はある。現行の新幹線に比べ、少ない。実験線での実測値もある。今後、12 両編成にして実測していく。予測値は基準値と比較している。基準をクリアしていればいいというものではないので、低減に努めていく。</p>

		<p>【恵那市の意見】</p> <p>20. 明かり部での騒音について、防音壁では、音の発生源である中央新幹線ルート用地幅(22m)を超えた地点で「新幹線鉄道騒音に係る環境基準」を下回ることができないと予測されている。それについて土地利用対策や個別家屋対策なども含めて総合的な対策を実施するとされているが、良好な環境を保全するためには用地幅(22m)を超えた全地点、全地域で環境基準を超えないことが必要である。そのため、騒音対策として市内明かり部全線について防音・防災フードを施工すること。</p> <p>23. 工事の振動に起因する建物等の損害等について、事前調査を行うこと。</p> <p>24. 良好な環境を保全するためには用地幅(22m)を超えた全地点で環境基準を超えないことが必要である。そのため、微気圧波対策として市内明かり部全線について防音・防災フードを施工すること。</p>
81	24.瑞浪の核廃棄物の問題とリニアの関連はあるのか	<p>【JRの回答】</p> <p>開発機構が調査を行っていることは承知している。県も瑞浪市も廃棄物を受入れることはないといっている。これは相当の深さを調査しているようだが、リニアはそこまで深くはない。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>
82	25.千田川上流に地すべり地帯があるが対応は？	<p>【JRの回答】</p> <p>県が調査や対応していることは承知している。地すべりは地面の面がすべるもの。調査結果も参考にし縦断計画を行った。</p> <p>【恵那市の意見】</p> <p>意見なし</p>